

国際放射線防護委員会（ICRP）会合の結果概要について

令和元年11月27日

原子力規制庁

オーストラリア・アデレードにおいて開催された国際放射線防護委員会（ICRP：International Commission on Radiological Protection）の会合に、伴原子力規制委員が参加した。

ICRPは、専門家の立場から人及び環境の放射線防護に関する勧告を行う非営利の国際学術組織である。専門委員会は1年毎、シンポジウムは2年毎に開催している。

今回の会合では、11月18日及び22～24日に専門委員会（非公開）が、17～21日にICRPとオーストラリア放射線防護学会との合同シンポジウム（ICRP 2019）が行われた。

伴原子力規制委員は、座長を務めるタスク・グループ102（放射線デトリメントの計算方法）について、シンポジウムでポスター発表を行い、11月22日にはタスク・グループ115（宇宙飛行士の放射線防護のためのリスク及び線量の評価）の会合及び同タスク・グループの拡大会合に参加した。23、24日には第4専門委員会の会合に出席し、上記の二つのタスク・グループについて活動状況を報告した。